

あきたの食ホップ・ステップ・ハサップ推進事業について

生活衛生課

1 背景

ハサップは、食品の安全性を高めるために開発された製造工程管理を強化した衛生管理の方法のひとつで、この考えを取り入れた衛生管理が国際的に主流となっている。

国では、乳や食肉製品など6業種を承認の対象としている。

全国的には、消費者の食品安全に対する関心の高まりに着目し、現在、17都道府県が6業種以外の業種に対象を広げ、独自のハサップ認証を行っている。

2 事業の目的

県産食品の安全性の確保と信頼性を高めるため、秋田県独自の認証制度（秋田県版ハサップ）を構築し、食品関係事業者の自主的衛生管理を一層推進するとともに、認証事業者に社会的信頼を獲得させることにより、秋田の食の販売力強化につなげる。

3 事業の概要

(1) 消費者が高度な衛生管理手法に取り組む食品関係事業者を一目で確認できる認証制度を構築する。

認証制度基準の作成及び認証審査機関の決定（生活衛生課）

認証審査機関による調査・指導及び認証審査会による認証（外部機関）

(2) 地域の食品衛生の指導的役割を担っている食品衛生推進員による、自主的衛生管理の普及・推進活動を支援する。

食品衛生推進員の衛生活動の支援

食品衛生責任者の養成

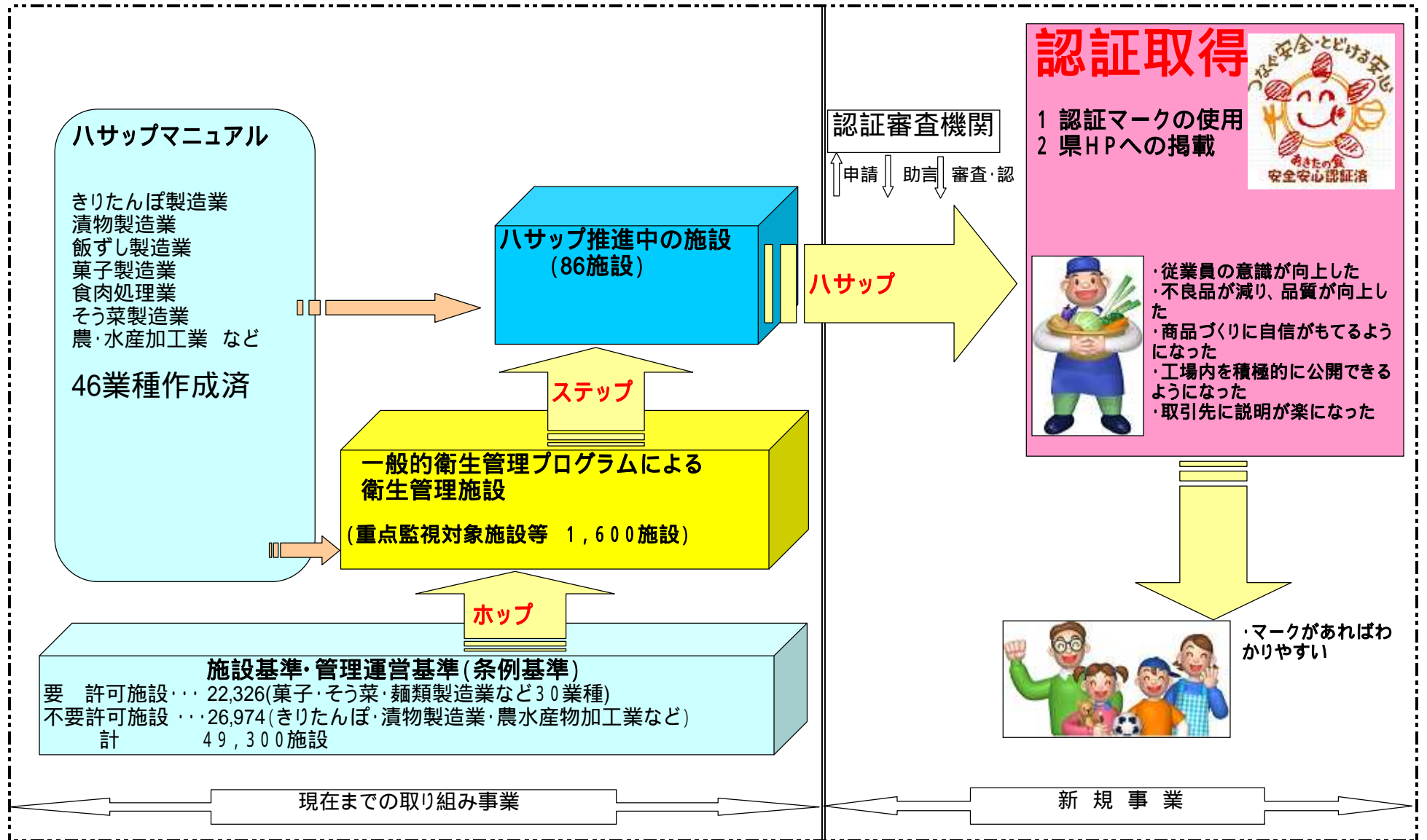
4 予算額 8,628千円

内訳

(1) 秋田県版ハサップ認証制度推進事業費 6,328千円

(2) 自主的衛生管理強化事業費 2,300千円

あきたの食ホップ・ステップ・ハサップ推進事業(秋田県版ハサップ認証制度)の概要



あきたの食ホップ・ステップ・ハサップ推進事業

～生産から消費(特に製造者、バイヤー)からの要望～

農家A
私たちが、頑張って作った作物を安全でおいしい食品に加工してくれるのは、うれしい。

生産

秋田県産農産物の生産
安全安心な農産物生産に関する取り組み

秋田県A協会 会長
国の制度と比べると県の制度は、企業の負担が小さく、取り組む意欲を喚起させるので、良いきっかけになると思う。

加工

秋田県B協会 理事長
秋田県C研究会 会長
秋田県の食品産業のレベルをあげる良い機会になる。

秋田県D組合 理事長
衛生管理は業界一丸となって取り組んでいる。衛生管理が向上する制度に反対はしないが、自分の会社ではあまり必要性を感じたことがない。

秋田県版ハサップ認定証

秋田県版ハサップの取得
安全安心な食品の製造

E食品研究会 会長
取引先から、衛生管理についての要求が厳しい。ぜひ、導入を実現させて欲しい。併せて、設備投資などの経費が必要な場合にはその手当も考えて欲しい。

(株)A 取締役
衛生的な安全な食品は、商品の基本的な部分である。ハサップ認証商品があったら、教えてほしい。

流通

(株)B 商品部長
衛生的な安全な食品は、今の時代、商品取引の最重要ポイントであり、重視している。

デパート

合資会社C 代表 (ユーザーコンサルタント)
ギョウザ事件以来、安全面は非常に重要になってきた。ユーザーは食品の安全面を検証しながら、取引先を決めている。

「秋田県版ハサップの安全性、制度の信頼によりバイヤーとの取引拡大。」

ハサップ

ステップ

ホップ



消費

消費者A
マークがあれば、わかりやすく助かる。

安全安心な食生活の確保
ハサップマークにより、安全な食品を見分けられる。

消費者B
少しくらい高くても、子どもには、安全なものを食べさせたい。

(株)D 商品開発担当
品質、価格、次に安全となるが、安全な食品は当然である。取引先を決めるときは、製造施設の衛生面を確認して決める。

販売

㈱E 企画開発チームリーダー
安全面がクリアした上での味・価格である。最近では、業界でも品質管理、食品表示の管理ができない業者とは、取引しない。

「秋田県版ハサップの食品」消費者に制度のPR徹底により、消費拡大。